

コミュニティ新聞

ふれあい

第37号

平成31年3月15日

亀田小学校区

コミュニティ協議会



この一年間の活動を振り返って

亀田小学校区コミュニティ協議会

会長 岩瀬耕一

常日頃コミュニティ協議会の活動にご協力いただきましてありがとうございます。

今年度は7月、8月にお囃子講座を実施し亀田甚句の練習をしました。亀田まつりに亀小の生徒や親御さんたちと参加するとともに、盆踊り大会を開催して伝統に触れる機会を持ちました。

6月には全国的に大災害が多く発生していることを受けて防災研修会を開催、9月には亀小の皆さんと合同防災訓練でAEDの訓練などを実施しました。800人近くの人に参加していただき地域との交流をもつことも出来ました。

秋には散策ふれあい会を実施しました。地域の散策と梨もぎの後、豚汁を食べながら楽しい昼食をとり、ゲームも行いました。

年に3回広報誌『ふれあい』新聞を発行し、活動内容の広報も行っています。

また、月に6回の「よりなせ家」を開催しギャラリイや色々な講座も実施しています。

このほか様々な活動を行っていますが、行政と地域を結ぶ次のような会議にも代表者に参加していただいています。

- 。 江南区自治協議会委員
 - 。 江南区社会福祉協議会評議員
 - 。 新潟市共同募金委員会江南区推進員
 - 。 亀田地区コミセン運営委員会
 - 。 新潟市住み協江南区支部運営委員
 - 。 新潟市亀田圏域支え合いの仕組みづくり会議委員
 - 。 江南区ふれあい・ささえあいプラン推進委員会委員
- これからも住みよい地域づくりには皆様と共に努力していきます。是非ともご協力をお願いします。

部 会 紹 介

ふれあい交流部会

ふれあい交流部会 副部長 黒井 健一

ふれあい交流部会は、校区内の子どもから大人までが普段の生活でなかなか触れ合うことがない中で、相互にふれあえる機会を設け、交流していくことを目的に今年度事業を行ってきました。6月29日には、「自治会・町内会長、民生・児童委員、PTA役員等の連絡会議」を行いました。事業内容は、江南区長との懇談会に向けての地域の課題、要望等をグループディスカッションすることにより、この地域がよりよいものになるために、という参加者の熱い思いを感じました。

8月11日には、お囃子講座受講者の発表の場でもあり亀田まつりの亀田甚句流しに向けたりハーサル的な意味合いもあり、盆踊り大会を亀田小学校体育館にて行いました。子どもたちの本番に向けて日頃の練習の成果を発表する良い機会になりました。8月25日の亀田甚句流し当日は300人を超える参加者があり、お囃子講座受講生にとっては集大成といえる場だったのではないのでしょうか。

10月7日には、地元の農家さんの梨畑まで歩き、梨狩り体験をするという散策ふれあい会を計画していました。当日は、台風による梨の落下が危惧されたため梨狩りは中止になりましたが、梨畑まで散策をし、大きな梨をいただきました。その後、ビンゴゲームの開催、豚汁を食べ楽しい時間を過ごしました。

今後もふれあい交流部会の活動を地域の皆様からご理解・ご協力をいただき地域の活性化の一助となれるように活動をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



広 報 部 会

広報部会 副部長 坂井 雄一

日頃、広報誌「ふれあい」をご高覧いただき、有難う御座います。

私ども広報部はコミュニティ協議会の活動を中心に、皆様にお知らせしております。

また、古くからこの街に住む人、新しく住む人たちを結ぶために、伝統文化の継承をお手伝いしたり、ちいさな芸術家の皆さんを本町通りのふれあいの駅『よりなせ家』などで紹介しております。



亀田の街は古くからある街ですが、新しい街もどんどんできております。

そこに住む人達しか知らない小路の曲がりかどの事や、花や風を感じる季節がありましたら是非お知らせください。

これからも広報部一同、皆さんの声を頂きながら文字だけではなく、人と人の温もりも伝えられる様な広報誌を創って参ります。

安心・安全部会

安心安全部会 副部長 倉嶋 拓

平成30年度の安心安全部会の活動は、第3回防災研修会と亀田小学校との合同防災訓練でした。まず、6月27日（水）に第3回防災訓練を亀田地区コミュニティセンターにて行いました。新潟市消防局江南消防署様の署員の方々の協力で、30余名の参加者が、心肺蘇生とAEDの使い方を学び「普通救命講習」の修了証を頂きました。万一の事態に遭遇しても率先して救命活動を行うお手伝いとなればと思います。

次に、9月15日（土）に亀田小学校とコミュニティ協議会で「合同防災訓練」を行い、大規模災害に遭遇した想定で、避難所開設の訓練を行いました。その後、各グループに分かれて煙体験、応急処置訓練、AED訓練を行い災害発生時にも、一人一人が考えて、減災につなげる訓練を行いました。屋外には、国土交通省北陸地方整備局様の協力で、起震車を配置し、震度7強の揺れを体験して、いつ起こるかわからない地震の恐怖を感じました。一日を通して、防災・減災について考えさせられる貴重な体験をさせて頂きました。



福祉部会

福祉部会 副部長 田邊 由美子

福祉部会は、発足2年目となり、これまで“地域の支え合い”のために何ができるのかを考えながら活動してまいりました。

「亀田圏域支え合いしくみづくり会議」や、アピタ前での「赤い羽根街頭募金」に参加したり、社協研修会では北区早通健康福祉会館での先進的な取り組みについて学びました。

また、「江南区社会福祉協議会地区別説明会及び座談会」では、自治・町内会長や民生児童委員の方々と『地域の宝（地域におけるつながりづくりの活動や支え合いの活動）』を探してマップを作りました。改めてみると町内会行事や神社の祭り、地域の茶の間などたくさんの楽しい活動がありました。この『地域の宝』を大切に、皆が積極的に参加することがつながりづくりになると再認識しました。

福祉部では、「よりなせ家」の運営も行っています。毎回新しい出会いがあり、話も弾みます。老若男女たくさんの皆様のお越しをお待ちしております。

亀田小学校が文部科学大臣表彰を受賞

地域と学校の協働の取り組みが他の模範と認められるとして、亀田小学校の活動が平成30年12月3日文部科学大臣表彰を受賞しました。

次代を担う子どもたちを育成するため、亀田小学校区コミュニティ協議会も応援しています。

ふれあいの駅「よrinaせ家」だより

「三・九の市日」に開催される「よrinaせ家」では、本年度もより多くの方に関心を持って足をお運びいただけるよう工夫を凝らしていきたいと思っております。

第一弾は、新年そうそうに元気塾「亀田縞ものがたり」を亀田縞応援隊の青山 登さんをお迎えし開催しました。会場には糸織り機が用意され実際に体験をする事もできました。農家の副業とした始まった亀田縞が亀田市とともに発展し、化学繊維の台頭と戦争により衰退していく歴史や、亀田縞応援隊の、「芦沼の忘れ形見『亀田縞』」を若い世代につなぐ活動をお話いただきました。CD化された叙情歌「亀田縞」も披露され、会場はノスタルジックな雰囲気になりました。

また、偶数月の19日に開催される「笑いヨガ」は10回目となり好評をいただいております。

3月19日(火)には、長谷川ひろみ先生(元亀小教員)をお迎えし元気塾「なつかしい歌」を開催します。童心に戻って大きな声で歌い楽しいひとときを過ごしましょう。

皆さんも是非一度「よrinaせ家」にお立ち寄りください。お茶を用意してお待ちしています。 山田 恵子



開設日

三・九の市日 9時30分～12時
 元気塾 毎月19日10時～11時
 (偶数月は笑いヨガ・奇数月は頭と体の体操や講話など)

活動状況

- 1月19日 元気塾「亀田縞ものがたり」
亀田縞応援隊 青山 登
- 2月19日 元気塾「第10回笑いヨガ」
笠原 待子
- 2月23日～25日 「第3回亀田の風景画展」

★4月20日～22日に第11回合同美術展を予定しています。是非、お越しください。



第3回 亀田の風景画展

定例介護(健康)相談会 (10時～11時)

- 平成31年4月3日(水) ()内は協力機関
- 新遺産相続のあらまし(包括支援センターかめだ)
- 平成31年5月9日(木)
- 車椅子の扱い方(江南区社会福祉協議会)
- 平成31年6月3日(月)
- 怒りのコントロール法(包括支援センターかめだ)
- 平成31年7月3日(水)
- 老化と歯の健康(江南区役所健康福祉課)
- その他、介護保険等の相談も随時受け付けます。

廃天ぷら油の回収

亀田地区コミュニティセンター玄関前で、回収を行っています。
 毎月第1土曜日(午前8時30分～正午まで)です。
 皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

まち角お地藏様

船戸山、沢海屋菓子さんのすぐそばの地藏堂。
 赤い着物を着て鎮座しております。
 前庭が広いので今も昔も子どもたちが沢山遊んでいます。

